



物流のCO₂排出量原単位

日油では、2006年度から統合配送システムを稼働させ、物流の効率化を図っています。加えて、モーダルシフト※や共同配送の推進にも取り組んでいます。

モーダルシフトは、トラック輸送から鉄道便へのシフトを進めた結果、全輸送量に占める鉄道および船舶輸送の比率は20.6%となりました。

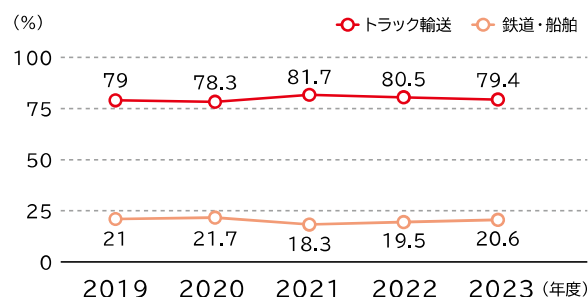
物流におけるCO₂排出量原単位は、統合配送システム実施初年度（2006年度）を100とすると、2023年度は44.0となりました。



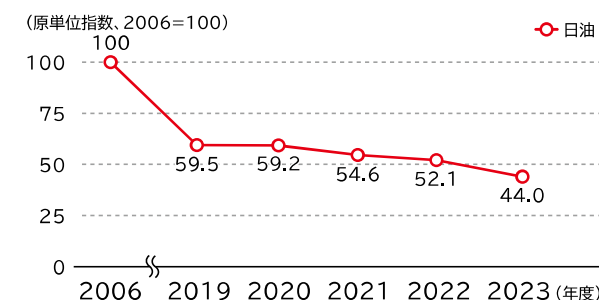
モーダルシフト

$$\text{輸送のCO}_2\text{排出量原単位} = \frac{\sum (\text{輸送手段ごとのCO}_2\text{排出量})}{\text{売上高}}$$

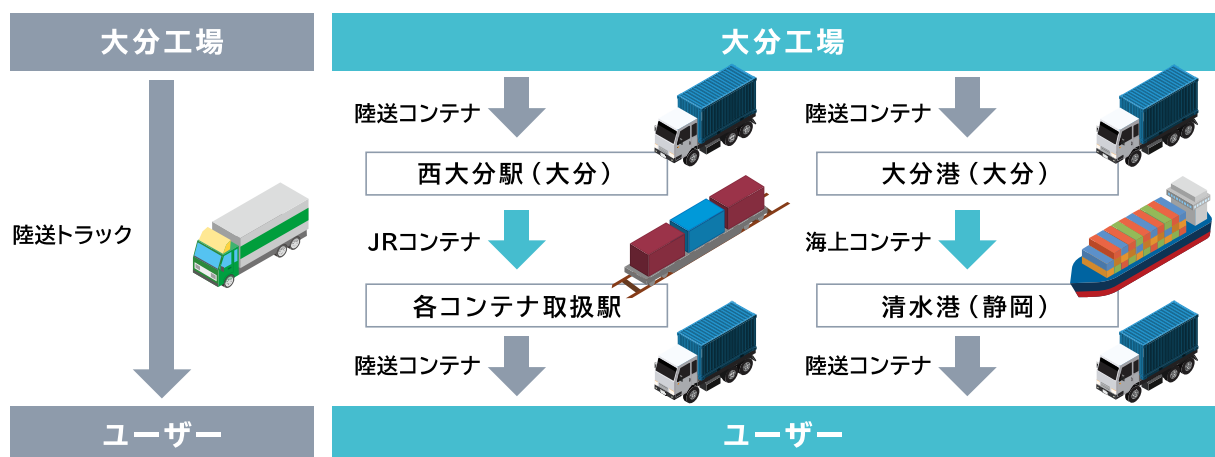
物流モーダルシフト 日油グループ



輸送に関するCO₂排出量原単位 日油



大分工場 モーダルシフトスキーム



※ 輸送手段を鉄道や船などの大量輸送手段に変更することで、輸送の効率化を図り、併せて省エネルギー、環境負荷の低減を図ること